



もっと詳しく! <肥料のいろいろ>

肥料には有機質肥料と無機質肥料がありますが、圃場*由来の堆肥などを活用することが農業の基本です。

とくに有機農業では、環境と調和し、土壌の健康を向上させることを目指しています。

※圃場とは水田や畑（普通畑・樹園地・牧草地）など、作物を育てる場所のこと

植物は、根から水と栄養素を吸収し、葉から二酸化炭素を取り込んで成長します。特に重要な栄養素である「窒素」「リン酸」「カリウム」の3つを、肥料の「三要素」と呼びます。

窒素【N】 植物の葉や茎の成長を促し、光合成を効率よく行えるようにします。

リン酸【P】 花や果実の形成を促進します。

カリウム【K】 根の発育を助け、植物全体の健康を維持します。

さらに、カルシウム、マグネシウム、硫黄、ホウ素、マンガンなどの栄養素をバランスよく補給することで、植物はより健康に育ち、収穫量や品質が向上します。

図で見てみよう!

空気中から取り込める要素

H 水素 O 酸素 C 炭素

肥料の三要素

N 窒素 P リン酸 K カリウム

二次要素

Ca カルシウム Mg マグネシウム S 硫黄

微量元素

Fe 鉄 B ホウ素 Mn マンガン Zn 亜鉛 Mo モリブデン Cu 銅 Cl 塩素





もっと詳しく! <肥料のいろいろ>

／ 使い方の違いを知ろう! ／

有機農業では、制度で定められた範囲内で必要に応じて有機質肥料と無機質肥料を補います。

＼ あたえる! ／

有機質肥料

どうやって使う?
生育途中の作物が栄養をすぐに必要とするときに使います。通常、土に混ぜることで植物に素早く栄養を届けます。

各栄養素が土に加えられて野菜が元気に育つんだね!

より良い栽培環境のために
組合わせてつかう!

＼ ととのえる! ／

無機質肥料

どうやって使う?
ある程度成長した作物の栄養をさらに補うために、追肥(ついひ)として使います。

特性を理解して
バランスよく
使っているよ!

有機農業の場合は、無機質肥料の中で自然の鉱物や貝殻、草木灰など、自然由来の肥料を使います。

もっと、もっと詳しく! (より専門的な説明はこちら!)

